

進路指導室から 第321号

はじめに

2020年度末を迎えました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまでの学校生活の変更を余儀なくされ、学校の存在意義が問われた一年でした。

さて、この時期ともなるとずいぶんと暖かくなりました。広島城周辺の桜も満開に近づいています。人間の営む生活が大きく変わっても季節は廻り、春には桜の花の季節を迎えます。夏目漱石は、小さな私を去って、普遍的な大我（自然）の命じるままに自分をまかせることを「則天去私」と言いましたが、年齢を重ねて何となくその境地がわかるようになりました。



「2021年度大学入試結果」について

2021年度大学入試がほぼ終わり、その結果は以下のとおりです。（3月30日（火）段階）

〔難関10国立大学〕

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
東京大学	5	3	3	3	6	4	4	2	1	0
京都大学	12	8	9	7	8	7	11	7	14	12
北海道大学	2	0	3	2	3	3	6	5	6	5
東北大学	2	1	2	1	2	2	1	0	1	1
名古屋大学	2	1	4	3	3	2	3	2	3	2
大阪大学	13	8	14	10	9	8	15	15	22	21
九州大学	19	16	24	21	19	18	20	17	24	19
東京工業大学	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
一橋大学	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
神戸大学	11	10	13	13	10	9	10	9	16	14
合計	67	48	72	60	61	53	71	58	89	76

〔国公立大学難関学科〕

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
医学科	10	4	6	3	4	2	10	7	8	7
歯学科	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
薬学部	5	3	4	3	10	8	12	9	12	10
合計	15	7	10	6	14	10	23	17	21	17

〔県内国公立大学（現役生のみ）〕

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
広島大学	42	61	59	57	63
県立広島大学	9	13	7	10	4
叡啓大学					1
広島市立大学	13	9	10	9	8
尾道市立大学	2	0	0	3	3
福山市立大学	0	0	0	1	0
合計	66	83	76	80	79

今年度は例年よりも難関大学への出願が多かったこともあり、難関大学の合格者が例年以上に多かったことが

特徴的でした。また、芸術系の最難関である東京藝術大学の音楽学部と美術学部に1名ずつの合格者を輩出し、本校生徒の多様な進路実現につながったことは良かったと思っています。ただし、東京大学の現役合格者を輩出できなかったことは残念でした。東京大学を志望している生徒について、しっかりと支援していくことが大きな課題だと考えています。

「全校集会での講話」について

3月19日（金）に行われた後期終業式後の全校集会での講話の中で、以下のような話をさせていただきました。

この1年間は新型コロナウイルス感染症により学校生活がいろいろな面で制約されました。決して満足のいく学校生活ではなかったと思いますが、自分自身の中で成長が感じられる1年間であったかどうか振り返ってみてください。

今日は2つの言葉を紹介します。

1つ目の言葉は、「主体性」です。

「主体性」とよく似た言葉に「自主性」があります。「自主性」とは、あらかじめ決められたことを率先して実行・実践することです。例えば、「掃除をする」といったルールがあるとします。「自主性」がある人は、これらを先生や友人に言われずとも率先して実施します。ただし、「あらかじめ決められたこと」という点が重要で、決められたことに対して前提を疑ったり、その目的については考えが及びません。

一方、「主体性」とは、どんな状況においても「自分の意志」や「判断」で責任を持って行動することです。つまり「主体性」がある人は、状況に応じて自分が何をすべきかを考え、判断し、行動できる人ということです。具体的には、「その時々状況でやるべきことが自分で判断できる」、「他の人に言われなくても行動を起こせる」、「自分のことだけでなく、他者のことを考えられる」、自分の行動に責任を持てる、「失敗しても言い訳をせず、改善策について考えられる」人です。

反対に、「主体性」のない人とは、「言われたこと以上のことをやらない」、「自分の行動に対して責任を持ちたくない」、人から言われたことしかやらない、「人から否定されるのが怖い」、「失敗すると、言い訳や自分を守ることに意識が行き、改善策について考えられない」人です。

大学受験などの進路指導の充実を図っている学校が増えています。少子化が進み、受験生の数は減少していますが、今年も難関大学への志願者が前年を維持したように、大学受験が易しくなっているわけではありません。「主体性」を身につけることが皆さんの課題だと考えています。

2つ目の言葉は、「志」です。

この「志」という言葉は、基町高校の進路指導で大切にしているキーワードの1つであり、基町高校の進路指導は、皆さんの「志」を育むことを目標としています。

「志」という漢字の成り立ちを調べてみました。「志」は、大きく2つのパーツに分けることができます。1つが、漢字上部の「士」、(武士の「士」で使われている漢字)です。そして漢字下部の「心」です。

「士」はもともと「之」の字が当てられていて、「行く」の意味がありました。そして、「士(之)」と「心」を組み合わせることで「心が行く」、つまり、「心が突き動かされる」と変化し、「志」の漢字ができました。この「志」という漢字は、自分の気持ちが向かうところ、つまり「心の内から湧き上がる強い気持ち」を表現した漢字といえます。

ただし、「志」を見つけ、目指していくことは決して容易なことではありません。「志」を見つけるためには、自分の興味・関心、そして適性などについてしっかりと考える必要があります。また、「志」を目指していくためには、相当の努力や苦勞が求められます。

さて、明日から春休みに入りますが、2年生は22日（月）から「春の集中学習」が始まります。3日間、集中力をもって取り組んでください。1年生も、同じ期間中に「1年間の総復習」として取組が行われます。多くの人たちの参加を期待しています。

また、この間、創造表現コースの人たちは中四国方面での2年次研修に臨みます。いろいろと経験したことを今後の作品づくりに生かしてください。

春もあと少しのところまで来ていますが、この春休みの取組を来年度の皆さんの歩みにつなげて欲しいと願っています。

終わりに

この3月に本校を卒業した卒業生が大学入試結果の報告もかねて挨拶に来てくれました。ドライフラワーづくりを趣味しており、記念にリースをいただきました。進路指導室の壁に飾っておきたいと思っています。

今年度の「進路指導室から」はこれで終了です。ありがとうございました。
(文責：進路指導部 池本 邦彦)

